

おお大勝利

平成 23 年度山東サッカー部報第 21 号 (11 月 8 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

油断なし 慢心なし ただ実力不足…

県新人大会が、最北地区の各会場にて、一回戦 11 月 3 日 (木)、二回戦 5 日 (土)、準決勝 6 日 (日)、決勝 8 日 (火) の日程で行われました。山東の一回戦の相手は酒田工業。県リーグの 3 部にて力強い攻撃を見せていたと評判の酒田工業。地区新人を 1 位で勝ち抜いてきた手強い相手。山東は Y1 に在籍しており、Y3 在籍のチームには勝たなければならないはずだが、どうなることやら。今期、Y1 でも好ゲームで勝ち切った試合は少なく、選手権では監督の采配の問題があったものともかく結果は初戦での大敗 (山商に 0-4)。もちろん、初戦突破してチャンピオンチームの羽黒と対戦したい、という気持ちはありましたが、それも一回戦を突破してからの話。山東は、10 月 30 日 (日) に伊藤弁護士 (47 回卒の部 OB) 率いる東北弁護士サッカーチームと練習試合をするなどして調整し、初戦に集中して 11 月 3 日を迎えました。

会場は真室川の運動公園。天然芝ながら、管理不足 (過使用) のため、状態は悪い。OB 会からは、清野会長と後藤報道局長がはるばる来て下さる。それだけではない。審判員に章洋さん (36 回卒の部 OB) の顔が。「まさか、山東一酒工の主審ですか？」とそんなはずはないだろうがと思いながら挨拶代りにお聞きすると、なんと首を縦に振る章洋さん。「主審を味方につけたら勝ちですね」などと試合前は清野会長と冗談を言う余裕がありました。山東の試合の主審はやりにくいと章洋さんが仰っていたという話を聞いたものですから、「打ち合わせ通りやっていただければいいんですよ！」と軽くジャブを入れましたが、もちろんその後の試合のジャッジは公正でした (章洋さんの名誉のため)。

試合が始まると、何とはなしに酒工ペースか。酒工は FW の身体能力が高く、また、右サイドの選手のドリブルが力強いので、攻撃時に山東ゴール深くまで攻め込まれてしまう。山東も FW を裏に走らせる攻撃からビッグチャンスを複数回作るが、決め切れず。**DF と MF の間でパスは回せるものの、ミスが多く、高い位置 (酒工ゴールに近い位置) でつなぐことができない。FW への楔のパスもずれることが多く、FW も二次攻撃につなげるタメを作れていない。チャンスは裏に FW を走らせた時だけで単発。とにかくミスが多すぎて、攻撃のつながりが全く見られない。**力強い攻撃と CK の連発の中で、「そろそろ (ゴールを) 決めようぜ」の声が飛び交う酒工。「Y1 のチームって聞いてたけど、全然弱いね」との声が聞こえてきそう。「(この試合展開なら、そう声を掛け合うのは) そりゃそうだよな～」と思いながら戦況を見つめていると、中盤の位置で酒工に FK を与えてしまう。縦気味の斜めに蹴られたボールは、酒工 FW のスリップヘッド (すらすへディング) で後ろにこぼれ、運悪く？守らんと走り込んできた山東の選手にぶつかり、ゴールマウスの中へ。山東オウンゴール OG。この展開だと失点も止む無しだよな～とため息。そしてその直後！先ほどより正面に近い中盤の位置から再び FK を蹴られ、それを酒工 FW にドンピシャの

スリップヘッドで合わせられ、やや前にせり出していた GK の頭上を越えたボールはそのままゴールイン。あっという間に 0-2。戦況を見つめる私の感覚だと二点差ならまだ大丈夫、との気持ちはありましたが・・・またしても失点の直後に、今度は酒工 FW にドリブルでぶち抜かれ、あっという間 part2 で 0-3。5 分ほどの間で 3 失点。得点や失点の直後は一番集中しなければいけないんですけどね～。その後、**ユウタロウ**が得意の左足からミドルシュートで一点返し、前半を 1-3 で折り返す。

後半は、山東の拙攻、酒工の堅守といった試合展開。山東の方が攻めている時間は長いでしょうが、ビッグチャンスは力強い右サイドの選手を中心にカウンターを仕掛けた酒工の方が多かったのではないかと。ともかく、酒工ゴールを破ることはできず、そのままのスコアでタイムアップ。**自分たちは Y1 のチームだとの自負はありました（し、選手にそういう自覚を常々促してはいました）が、決して油断した訳ではありません。自分たちは強いと勘違いをして慢心した訳でもありません（慢心できる要素はここ最近の山東にはありません）。あっけなく失点を続けたことも、ゴールを複数回破ることができなかったことも、明らかな実力不足。**Y1 在籍を恥じ入る敗戦となりました。

OB の方やたくさんの保護者の方々が遠くまで応援に来て下さったのに・・・敗戦後、しばらくして、選手に自分たちの活動がいかに関わりの方々に支えられているか、周りの方々のためにサッカーをしている（試合に臨む）のではないとしてもいかに多くの方の期待を背負っているか、現在の自分たちの位置は来春に県総体優勝を目標に掲げてすらいけないレベルであること（掲げるとすればかなり大変なトレーニングを積み重ねなければいけないこと）を、選手に話しました。また、「敗軍の将 兵を語らず」の格言の通り、敗戦の責任を引き受けるのが監督の美德であるが、「プレーしたのは監督ではなく自分たちだ」と敗戦を自分の問題として引き受けるのが選手の美德である、と話をし、あとは選手同士の話し合いに任せました。

敗戦の翌日、ミーティング途中の主将と副主将が顧問の下を訪れ、一度全員退部したいとのこと、そして、11月8日（火）にもう一度、県総体優勝の目標を共有できる部員のみ再入部手続きを取るとの方針を伝えに来ました。単純に言えば、主将が全部員を退部させた、ということでしょうか。このチーム、これまでこういう行動、すなわち選手自ら判断して目標に恥じない行動を取ることがこれまで少なかったような気がしていたので、**正直顧問としてはうれしかった**です。「やるじゃないか、このチーム」と初めて思ったかも。ちゃんと全員再入部を果たしたかどうか、本日確認できていませんが、今回の敗戦を機に一回り成長するきっかけになれば、と願ってやみません。今後の山東サッカー一部の活動に引き続きご支援下さい。

今期の公式戦は、**今週末の地区一年生大会**をもって終了となります。**激励のいも煮会を開いて下さった保護者の方々の期待に応える戦い**ができるか、乞うご期待です。

11月13日（日）村山地区一年生大会 VS 山形工業 @日大山形 G 11:00～
勝てば同日同場所にて・・・ VS 日大山形と山南の勝者 14:10～

13日に2勝すると、11月23日（水）の決勝トーナメント進出となります。正確には、山形東サッカーOB会 HP 上にて、日程や組み合わせをご確認ください。

ご覧になった方がいらっしやっただかと思いますが、11月4日の山形新聞に、本校サッカー一部トレーナーの芹川さん（41回卒の部OB）による「提言」が掲載されました！小中高生の競技力向上のためにケアの重要性を述べたこの文章。読み忘れた方は、積まれた新聞から11月4日の新聞を探して下さいね！！